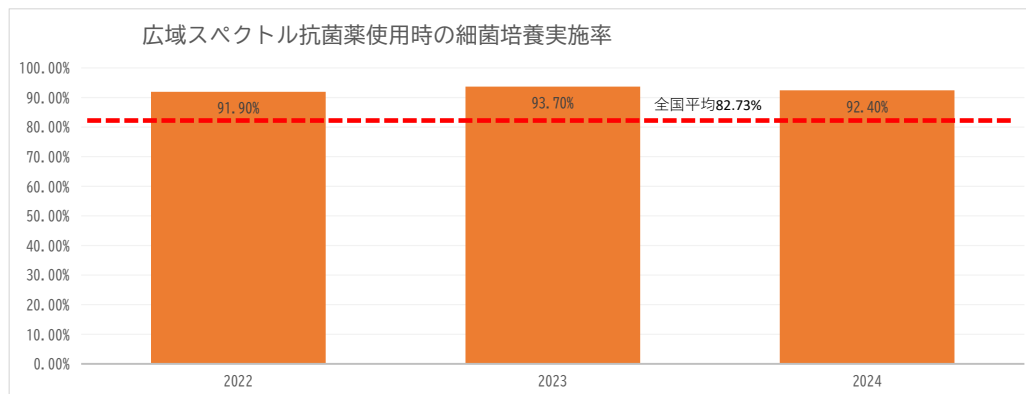




広域スペクトル抗菌薬とは

広域スペクトル抗菌薬とは、いろいろな種類の最近に効くお薬の事です。
感染症を起こす細菌には、たくさんの種類があります。それぞれの細菌には効きやすいお薬が違います。
どの細菌が原因かわからないときや、多くの種類の細菌に一度に効かせたいときはこの広域スペクトル抗菌薬を使用することがあります。
これは、多くの種類の細菌に効果があるため、早く治療を始めたいときに役立ちます。
ただし、必要以上に使うと、細菌が薬に対して強くなってしまう（薬剤耐性）こともあるため、慎重に判断して使用します。

細菌培養実施の必要性について

細菌培養検査は、感染症の原因菌を特定し、その菌に有効な抗菌薬を選択するために重要な検査です。
抗菌薬を投与する前に、細菌培養検査を実施することで、病原微生物が耐性菌の場合にも効果のある抗菌薬を選択することができます。
適切な抗菌薬の使用は、耐性菌の発生や蔓延を防ぐために重要です。

抗菌薬（こうきんやく）の適正使用について

抗菌薬とは、細菌による感染症を治すための薬のことです。一般的には「抗生物質（こうせいぶっしつ）」と呼ばれることもあります。肺炎、尿路感染症などの治療に使われます。
しかし、必要のないときに抗菌薬を使ったり、正しく使わなかったりすると、薬が効かなくなることがあります。これを「薬剤耐性（やくざいたいせい）」といいます。

薬剤耐性とは？

薬剤耐性とは、細菌が抗菌薬に強くなってしまい、薬が効かなくなることです。耐性菌（たいせいきん）が増えると、これまで治っていた病気が治りにくくなったり、重症化することがあります。
これは、日本だけでなく世界中で問題になっていることです。

当院での取り組み

抗菌薬が本当に必要なときにのみ、医師が慎重に判断して処方します
効果的な種類・量・使い方を選んで治療を行います
薬剤耐性菌の発生を防ぐため、医師・薬剤師・看護師が連携して対応します

患者さん・ご家族へのお願い

抗菌薬を正しく使うために、皆さまのご協力をお願いいたします。
医師の指示に従って、決められた量と回数を守って服用してください
症状がよくなっても、自分の判断で服用をやめないでください
他人に抗菌薬をあげたり、もらったりしないでください
風邪やインフルエンザなど、ウイルスによる病気には抗菌薬は効きません
抗菌薬は、正しく使えばとても頼りになるお薬です。みなさまのご理解とご協力で、未来の医療を守ることができます。ご不明な点がありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。